

2023年10月30日

積水化成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原正人）のリサイクル原料を活用した「ピオセラン RNW」が、トヨタ自動車株式会社の電動部品物流用途のリターナブル資材に採用されました。

「ピオセラン® RNW」がトヨタ自動車の 電動部品物流用途のリターナブル資材に採用

1. 採用に至る経緯

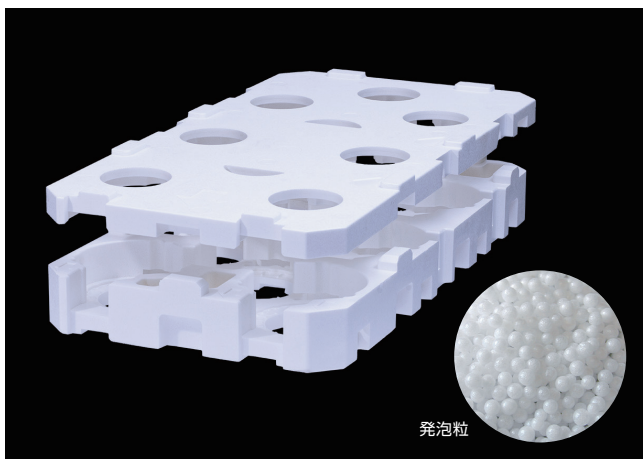
トヨタ自動車は、2015年に「トヨタ環境チャレンジ 2050」を発表しています。気候変動、資源枯渇といった地球環境の問題に対し、クルマの持つマイナス要因を限りなくゼロに近づけるとともに、社会にプラスをもたらすことを目指して、さまざまな取り組みを実施しており、その一環として、以前より部品物流の資材をワンウェイ（使い捨て）からリターナブル（回収して再使用）へと切り替える活動を推進されてきました。

この度、さらなる資源循環に向け、電動部品物流梱包でリターナブル使用後に廃棄されていた資材を、再生活用した「ピオセラン RNW」を採用いただきました。

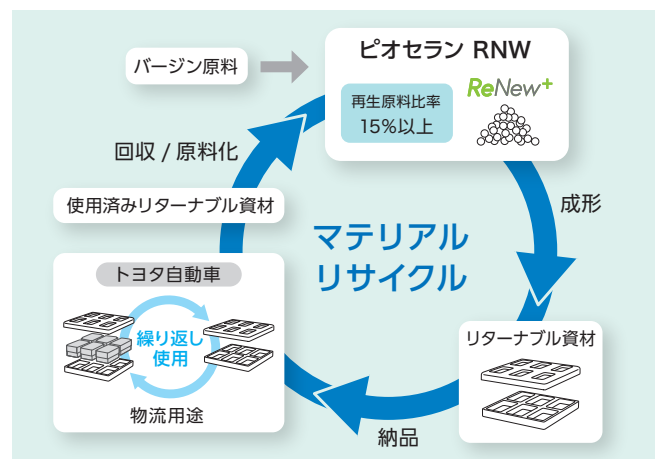
2. 内容

「ピオセラン」は、ポリスチレンとポリオレフィンをハイブリッド化した高機能発泡樹脂です。発泡体の特性である省資源・軽量に加えて、耐衝撃性、耐薬品性、耐摩耗性などの特長を併せ持ち、自動車部材や部品輸送梱包材として幅広く使用されています。採用された「ピオセラン RNW」は、独自に開発した技術により、回収した使用済み「ピオセラン」の資源循環を可能とした製品です。

さらに今例においては、使用済みのリターナブル資材は、豊田通商株式会社を介して回収され、再び「ピオセラン RNW」として再生するスキームも確立しています。



「ピオセラン RNW」リターナブル資材



「ピオセラン RNW」リサイクルフロー

3. 今後の展開

トヨタ自動車では、今後別の部品物流梱包材においても「ピオセラン RNW」の採用を予定されています。リサイクル原料を活用した「ピオセラン RNW」の物流資材は、人と地球の未来に貢献する3R (Reduce、Reuse、Recycle) を体現する製品として、自動車メーカーや部品メーカーだけでなくロジスティクス全般に提案を進め、採用拡大を目指します。

積水化成品グループは、持続可能な社会の実現に向けて、2030年には当社製品のリサイクル・バイオマス原料比率を50%以上とする目標を掲げています。これからも、パートナー企業と協働して事業活動を通じた循環型社会への貢献に取り組んでいきます。

以上